

平成26年度の各会計予算を審査する予算特別委員会(鎌田芳雄委員長、照井雄一副委員長・3月13日、14日、17日)での質疑(Q)と答弁(A)のいくつかを要約して紹介します。

質疑 あれこれ

市の地方債残高に 対し国の補てん額は

Q 地方債残高は平成26年度末で544億円だが、後年度に地方交付税として戻ってくる額は。

A 544億円のうち地方交付税の需要額に算入され戻ってくる額は364億円と見込んでいます。

本市の基準財政需要額の考え方は

Q 自治体が標準的な行政を合理的水準で実施した場合に必要なと想定される「一般財源の額」である基準財政需要額に対する本市の考え方はどうか。

A 本市の人口、面積等から算出される基準財政規模は約300億円である。標準財政規模の1.5倍から1.6倍までの中に予算額を納めることが大事だと認識している。

職員定数の管理計画の進行状況は

Q 平成18年合併時の職員数から240人を削減

する定数適正化計画が進められているが現状は。

A 平成18年の職員定数1198人に対し、28年4月1日に240人減の958人を目標に計画を進め、26年4月1日の見込みは943人である。

新年度の被災地支援 職員の派遣予定は

Q 被災地支援として本市から平成25年度に市職員5人を派遣している。他自治体と比べ多いと聞

くが26年度の予定は。
A 県から本市に要請を受けた人数は9人であり、26年度においては9人を派遣する予定である。

医師確保のための養成事業の状況は

Q 自治体が連携し行っている医師確保対策のための養成事業の状況は。

A 県と市町村が負担金を拠出しての市町村医師養成事業は、10年を経て平成26年度から7人の医師が県内に配置可能な状況となった。

自己負担なしだと約7000万円の試算となる。

イーハートブ大使との情報交換は

Q 花巻市のPRや産業振興のためにイーハートブ大使を委嘱しているが大使と市との情報交換などは行っているのか。

A 過去には市長をはじめ市と大使との情報交換を行っていたが、合併後は実施されていない。平成26年度において検討していきたい。

宮沢賢治記念館の整備と移転について

Q 宮沢賢治記念館の整備事業1億4932万2000円の内容と記念館の移転についての考えはどうか。

A 市内の関係者の方々からご意見をいただいたところ、現在地が望ましいという意見が大半であり、現記念館の活用を考えている。よって本事業はリニューアルであり現在の展示室の内容を一新する予定である。

新しい農業施策の制度運用の利便性は

Q 農地維持支払交付金が新設されたが、以前は補助事業を導入し一定年数が経過しなければ新事業を申請できないなどのしびりがあった。これらの要件は緩和されたか。

A 基盤整備をしてから30年以上という要件がなくなり、今までより非常に取り組みやすくなった。また、中山間地域でも共同活動ができるなど制度改正がなされている。

公共施設の老朽化への取り組みは

Q 社会資本の老朽化問題は客観的な情報把握が不可欠であり、数字情報がないと具体的行動が難しいと思うがデータ把握はしているのか。

A 国はインフラ長寿命化計画を出し、各自治体に対して中期的なコストの見直しのため公共施設等の総合管理計画作成の指示を出しており、それに対応していく。



緊急時に自動的に電源が入る防災ラジオ

社協の組織改編を承知しているか

Q 社会福祉協議会で石鳥谷、大迫、東和の支所存廃も含む地域福祉創造計画の素案をつくったことは承知しているか。

A 承知している。市補助金や会費収入を考慮すると理事会や評議委員会だけで決めることはどうかと考えている。社協からは、各地区で福祉懇談会を開催し住民に理解を得たうえで成案にしたいと聞いている。また、パブ

リックコメント等での意見聴取も実施していくとのことである。

非正規職員の処遇改善の考えは

Q 正規職員削減により非正規雇用者が増加し長期間雇用される場合もある。一定程度の一時金、退職金の支給や昇給制度も必要と思うがどうか。

A 正規職員以外の方については、制度がないが処遇改善の視点で社会的な要請、指摘があるのも事実で情勢を見極めていきたい。保育園等の臨時保育士の賃金処遇については若干見直した。

生活保護費の予算の増減と給付状況は

Q 生活保護費には8つの扶助費があるが給付の多い扶助費と予算の増減について伺う。

A 平成25年度で医療扶助費が約7億円、生活扶助費が約4億4000万円となっている。24年度に比べ増加傾向にある。



計画的な社会資本の長寿命化が求められている(朝日橋)

小中学校学区再編の進捗よく状況は

Q 小中学校学区再編調査事業は、進んでいないように思われるが現状はどうなっているのか。

A 再編については、笹間第二小学校の統合は平成19年ごろから提案している。また、大迫地域の内川目小学校と亀ヶ森小学校には複式学級があり、その解消が課題であると、とらえている。教育委員会から示すというより地域の方々と話し合いなが

増設された墓園の活用状況は

Q 墓園の増設が行われたが松園墓園と石沢墓園の活用状況を伺う。

A 松園墓園は平成25年度に225の新たな区画を設置。2月末時点で140件の申し込みを受けた。焼骨のある方、焼骨はないが2年以内に墓を建てる誓約書に基づき申し込みの許可を出した。

子どもの医療費助成
さらなる追加経費は
Q 自己負担額は、就学前の子どもが入院・入院外ともに5000円、小学生は入院5000円、入院外は1500円となっている。よい制度と思うが、さらに自己負担を減らすとなるといくら予算を要するのか。
A 入院・入院外ともに5000円で小学校6年生までだと約6000万円、



リニューアル予定の宮沢賢治記念館